



ロイヤルのモニュメント

多摩の丘から

発行/ 菱明ロイヤルライフ株式会社
 〒194-0202 東京都町田市下小山田町1461
 TEL 042-797-6611 FAX 042-797-6622
 URL <http://www.royal-tama.co.jp>

多摩・町田ぶらりと散策

里山の風情漂う野津田公園

多摩丘陵散策とFC町田ゼルビア

ロイヤルライフ多摩の南東、車で約5分のところに「野津田公園」があります。陸上競技場を中心に、野球場、テニスコートなどがあり、当初は野津田総合運動公園と呼ばれていましたが、多摩丘陵の豊かな自然を活かして整備され、今では誰もが楽しめる総合公園となっています。アクセスとしては多摩センター駅、鶴川駅、町田駅、淵野辺駅からバスで行けますが、今回はロイヤルから一番近い西口に車を止め、園内の散策を開始しました。



小野路一里塚

西入口の手前には「小野路一里塚」があります。1617年(元和3年)、駿河久能山に埋葬した徳川家康の遺骨を日光東照宮に移した時の街道の整備とともに造られたもので、江戸中期には大山詣での路程標識として利用されていました。道の片側だけ昔のまま残されていましたが、公園整備の際に両側とも復元したそうです。

案内に従って「ばら広場」に行ってみましょう。約8,000㎡の芝生の中に380種約840株のバラが植えられ、春から秋の約半年間、訪れる人の目を楽しませてくれます。春は5月中旬から6月下旬、秋は10月下旬から11月上

FC町田ゼルビアの
 マスコットキャラクター
 「ゼルビー」



ばら広場



旬が見頃です。

西口からは陸上競技場が目の前で、その向かいにテニスの壁打ち、奥に多目的広場が広がっています。あいにく陸上競技場は改修工事中で、その雄大な姿を望むことができませんでしたが、ここはJリーグのサッカークラブ「FC町田ゼルビア」のホームグラウンドであり、工事中であっても公式戦は開かれています。

Jリーグとは日本プロサッカーリーグのことで、詳しい説明は省略いたしますが、その加入条件はなかなか厳しいものがあり、今年ようやく、

町田市立陸上競技場 完成イメージ



FC 町田ゼルビアは念願のJリーグ加盟を果たしました。プロ1年目の現在はJ2（いわゆる2部リーグ）に所属し、J1昇格を目指して奮闘中です。

公式戦は土日に行われます（ゼルビアのホームゲームのみ）が、公園に訪れた際、もし試合があったら観戦してみたいかでしょうか。当日券を購入して、競技場内芝生の観客席で足を延ばしながら観戦していると、青空に抜けて行く歓声に、校庭やグラウンドを汗まみれで駆けていた若き日の記憶が甦ってくるから不思議です。



村野常右衛門生家

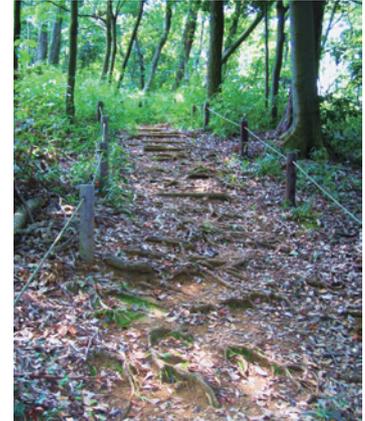
競技場をぐるりと回るように園内を進むと北駐車場、テニスコート、そして「村野常右衛門生家」があります。町田市の指定有形文化財に

なっている建物で、村野家から町田市が寄贈を受け、野津田町1,083番地から移築したものです。1859年（安政6年）7月15日にこの家に生まれた村野常右衛門は、多摩地区有数の自由民権運動家でした。常右衛門は、茅葺きであった家を1924年（大正13年）に、当時では珍しい鉄板葺きに大改築し、その往時の姿が復元されています。中には当時の家財道具も展示され、無料で見学できます。

北口脇に「湿生植物園」があり、セリやガマなど10種類約20,000株以上の水辺の植物が、あたかも自生したように繁茂していました。調整池を整備したそうですが、ひっそりとした佇まいに心も落ち着きます。

テニスコートの奥には炭焼き小屋があり、そこから「こもれびの路」と名付けられた散策路が山道のように雑木林の中に延び、懐かしき里山の風景がそのままに楽しめます。

園内は広大で、上の原広場やススキ草地、小野路屋敷、展望広場など見どころや休憩場所も点在し、野津田公園はスポーツを楽しむ人にとって魅力ある施設であると同時に、里山散策の絶好ポイントでもありました。



こもれびの路

ロイヤル Q & A

Q：生活サービスにはどのようなものがありますか

A：ご入居者に快適にお過ごしいただくために、次のサービスを行っております。

- 1：専用バス（シャトルバス）の運行
- 2：日用品の販売
- 3：金融機関（三菱東京UFJ銀行、横浜銀行、郵便局）、クリーニング、美容室の出張サービス
- 4：お買い物代行、各種サークル活動
- 5：居室清掃（有料）、トランクルーム（有料）、など

ロイヤル四季彩々

「観梅会」

観梅会で薬師池公園に行きました。未だ一部咲きでしたが、紅梅・白梅を鑑賞できました。池には、「キンクロ」と呼ばれる渡り鳥が来ていました。昼食は、「さ蔵」で、「白妙御膳」をいただきました(3月15日)。



「中庭の桜」

待ちに待った中庭の桜(ソメイヨシノ)がやっと開花しました。枝垂桜の開花も目前です。春の到来を実感しました(4月5日)。



「お花見弁当」

中庭のソメイヨシノや枝垂桜が満開のお花見日和に、特別メニュー「お花見弁当」が昼食に出されました。ご入居者は中庭を一望できる特別席で、桜を愛でながら舌鼓を打っていました(4月10日)。



「裏山の筍」

裏山の竹藪で、旬の筍が取れました。ご入居者に新鮮な筍を味わっていただくこと、食材として提供しました(4月25日)。



「ツバメの雛がかえりました」

来客者用駐車場の側に、毎年ツバメが来て巣作りをします。今年も、つがいのツバメがやって来て、巣の中に卵を産み、暖め育てていました。先日、無事に雛がかえり、無病息災を祈りました(5月18日)。



「金環日食」

当初、曇りで見ることができると心配されていましたが、雲の合間から、25年振りの金環日食を観察することができ、歓声が上がりました(5月21日)。



「5月のお散歩会」

相模原公園と麻溝公園でクレマチスや野草を鑑賞した後、相模大野の「りほう」で京懐石を頂きました。季節を感じられる丁寧なお料理が大好評でした(5月28日)。



「第21回ロイヤル誕生パーティー」

ロイヤル創業21周年を記念して、恒例の誕生パーティーが盛大に開催されました。フルーツとバイオリンの演奏のもと、創業時にご入居された方から今年6月にご入居された方皆様、和気藹々と歓談されていました(7月3日)。



「裏山の山百合」

雨上がりのロイヤルの裏山を散策していたら、可憐に咲く自生の山百合を見つけました。都心まで一時間足らずで行けるロイヤルが、いかに自然に恵まれているかを再認識しました(7月22日)。



「ロイヤル瓢箪日記」

裏山の大成瓢箪は、十分な水を吸って大きく成長しています。瓢箪棚に隣接する花壇に咲く花々との調和は、心を癒してくれます(8月3日)。



「午後のコンサート」

コーラスサークルの指導してくださっている井上佳代子様のソプラノ独唱をはじめ古閑匠さんのテノール、三輪主恭さんのバリトンの歌声でオペラ、アリア、心にしみる曲、別れの曲、思いのこもった曲などが披露され、ご入居者に感動を与えました(8月6日)。



「ビアパーティー」

恒例のビアパーティー。焼き鳥に枝豆、ビールを片手に夕涼み。フラダンスと花火で楽しい一時を過ごしていただきました(8月24日)。



「介護館納涼祭」

残暑の中、『納涼祭』が介護館で行われました。職員は浴衣や半被姿で、気分も盛り上がりました。玉入れ・フラダンス・すいか割りや盆踊りなどにぎやかに楽しく過ごし一時暑さを忘れていただきました(8月8日)。



「防災フェア」

地震被害の深刻さをパネルやDVDで紹介したり、町田市での地震体験車で震度7を体験したりして、防災意識を再確認しました。また防災用品のご紹介・販売、おにぎり・豚汁の試食も盛況でした(9月3日)。



編集後記

記録的な夏の暑さが過ぎ、秋が駆け足でやってきました。ロイヤルライフ多摩のご入居者の皆様は、裏山でのお花の手入れ、お買い物ツアー、読書など、暑さを吹き飛ばすほど精力的にご自分の趣味などで活動をされており、そのスタミナには私たちスタッフも驚いております。皆様方も体調管理には充分気をつけてお過ごし下さい。(M)



信頼される安心を、社会へ。 介護付有料老人ホーム
SECOM **ロイヤルライフ多摩**
 (社)全国有料老人ホーム協会会員

本誌の感想、ロイヤルへのご要望・ご質問など、お寄せください。

 **0120-27-1461**

ロイヤルライフ多摩

検索

→「ご質問・お問い合わせ」クリック